

[解説・ポイント]

① As digital technology continues to develop, many people rely increasingly on smartphones and computers to store information.

まずAsのカタマリが“develop”までで、「となり、“As”の訳はいっぱいあるので、とりあえず()として処理しておく。」

次に、主節の部分“many ~ computers”は

「多くの人々が()」

“to store information”のto Vは完全文の後にあるので、「と訳す副詞的用法で処理する。(基本これで大丈夫!)」

「()スマホやコンピュータに頼る。」

Asの訳は、“develop”や“increasingly”があることから」と訳す。

訳: 「デジタル技術が発展し続ける()、多くの人々が情報を()スマホやコンピュータにますます頼るようになっている。」

この部分は「デジタル機器に頼る」時代になっているという()なので、そこまで筆者が言いたいことではない。要約では省略可!

② While this trend undoubtedly makes daily life more convenient, it may also reduce our need to actively memorize facts.

Whileは()マーカーで「と何と何が対比されているのかをチェック!」

While節は「この傾向で()は()
が一方で…」と①の「デジタル機器に頼る」という内容を引き継ぎ、
次の主節の部分に注目!

“it may also reduce our need”は筆者の主張を表す()と
追加マーカーの()があり、やはりこの部分に力点がある!

→ 「
」 「必要性って?」
↓

“to actively memorize facts.” 「

訳: 「この傾向で日常生活は確実に便利になっているが、()
事実を積極的に()」

→ 「便利さの裏で()可能性もある」とこと!

③ As a result, some researchers argue that overreliance
on digital devices could weaken our memory skills.

As a resultは()マーカーで②の懸念に対して
()を加えている。

訳: 「(), デジタル機器()が記憶力を
()と主張する研究者もいる」

内容的に②とがぶる部分が多いので、②と③はまとめて要約する!

①~③までの要約: 「

④ Nevertheless, others point out that these tools

can free up cognitive resources for more creative and analytical thinking.

Neverthelessは()マーカーで、次に"some"に対して"others"がきて、()の提示をしている。

訳: 「(), それらのツールは()への
()リソースを空けることができると()」



デジタル機器の活用は()がもたが、
()
面もある

要約ではこの二項対立の構造を押さえればOK!

(解答)

[]